

## 沖縄に流入する外国人 MSM の予防行動に関する研究

研究分担者：健山正男（琉球大学大学院医学研究科 准教授）

研究協力者：nankr 沖縄

### 研究要旨

本研究の目的は、国内外からのツーリストが多い沖縄県において、沖縄県を訪れる外国籍 MSM の感染リスク行動を明らかにするための多言語対応の MSM 向け HIV 感染リスク行動調査の質問紙を作成することである。過去の MSM を対象にコミュニティベースで実施されてきたアンケート項目をすべて収集し、外国籍 MSM に対して尋ねるべき項目を選択する作業を実施した。

日本における外国籍 MSM における新規 HIV 感染者、新規 AIDS 患者報告数は近年増加しており、日本を訪問する外国籍 MSM の実態把握、予防行動の実態把握と対策の考案は急務である。

初年度は、外国籍 MSM が回答可能な多言語アンケートシステムの構築を行い、今年度は調査を試行した。その結果、回答者数が少なく、今後も継続して調査を実施する必要があるが、日本での性行動は日本の MSM と同程度行われている一方で、日本における HIV 検査の情報が浸透しておらず、検査機会が少ない状況であることが示唆された。

### A. 研究目的

本研究の目的は、国内外からのツーリストが多い沖縄県において、沖縄県を訪れる外国籍 MSM の感染リスク行動を明らかにするための多言語対応の MSM 向け HIV 感染リスク行動調査の質問紙を作成し、ニーズを把握することである。

### B. 研究方法

過去の MSM を対象にコミュニティベースで実施されてきたアンケート項目をすべて収集し、外国籍 MSM に対して尋ねるべき項目を選択する作業を実施した。性指向、出身国、年齢、職業、などの基礎項目、過去 6 か月に使用したゲイ向け商業施設、生涯や過去 1 年の HIV 検査行動、性行動など 25 問である。アンケートの依頼文、質問項目については、英語版のみならず、中国語版も作成し、多言語に対応したものとした。質問項目一覧は資前年度報告書に添付したとおりである。

### C. 研究結果

初年度に開発、作成したアンケートシステムを活用し、本年度は日本に滞在する外国籍 MSM の実態調査を試行した。

得られた回答は 55 人で、そのうち男性 44 人（80.0%）で女性 11 人（20.0%）であった。44 人を対象にこれ以降の分析を進めた。

44 人の回答者のうち、出身国をアメリカ、フランス、ドイツ、イタリアなどの欧米と回答した人は 25 人（56.8%）、韓国、中国などアジアと回答した人は 5 人（11.4%）、日本と回答した人は 14 人（31.8%）であった。

さらに国籍を欧米、アジア、日本に分類し分析を進めた。回答者の平均年齢±標準偏差は欧米 30.0±7.2 歳、アジア 33.0±1.9 歳、日本 32.4±7.3 歳であった。ゲイであると回答した割合は欧米 72.0%、アジア 100%、日本 71.4%であった。

国籍別に HIV 検査に関して回答した内容を

表1、表2にまとめた。滞在期間について、欧米国籍は様々であり、3か月未満で60%を占め、1年～5年も24.0%であった。アジアはすべてが1週間以内で、来日目的は旅行であった。過去6カ月間に、日本でセックスをした経験については有意差はみられず、欧米60.0%、アジア40.0%、日本は71.4%であった。

日本国籍(85.7%)と比べ、日本に来てからHIVや性感染症の検査を受けたいと思ったことがある割合は欧米36.0%、アジア20.0%と低かった( $p<0.01$ )。一方で日本では、保健所でHIV検査を無料・匿名で受けられることを知っている割合も同様で、日本78.6%に比べ、欧米28.0%、アジア0.0%であった( $p<0.01$ )。これまでにHIV検査を受けたことがある割合は60.0%～88.0%( $p=0.24$ )と変わらない一方で、日本でHIV検査を受けたことがある割合は、日本57.1%に比べて、欧米20.0%、アジア0.0%と低かった( $p=0.02$ )。

表1 国籍別 基本属性

	国籍			合計 n=44	Pearsonの カイ2乗
	欧米 n=25	アジア n=5	日本 n=14		
あなたは日本にどれくらい滞在していますか(通算)?					
1週間以内	3 12.0%	5 100.0%	0 0.0%	8 18.2%	<b>&lt;0.01</b>
1か月未満	5 20.0%	0 0.0%	1 7.1%	6 13.6%	
1か月～3か月	7 28.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 15.9%	
3か月～1年	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.8%	
1年～5年	6 24.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 13.6%	
10年以上	1 4.0%	0 0.0%	13 92.9%	14 31.8%	
日本に来た目的を教えてください。					
日本生まれ	0 0.0%	0 0.0%	10 71.4%	10 22.7%	<b>&lt;0.01</b>
留学、研修など	9 36.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 20.5%	
仕事で	7 28.0%	0 0.0%	1 7.1%	8 18.2%	
旅行で	7 28.0%	5 100.0%	1 7.1%	13 29.5%	
その他	2 8.0%	0 0.0%	2 14.3%	4 9.1%	
あなたは、過去6カ月間に、日本でセックスをしたことがありますか。	ある 15 60.0%	2 40.0%	10 71.4%	27 61.4%	
	ない 10 40.0%	3 60.0%	4 28.6%	17 38.6%	

表2 国籍別 検査行動

	国籍			合計 n=44	Pearsonの カイ2乗
	欧米 n=25	アジア n=5	日本 n=14		
あなたは日本に来てからHIVや性感染症の検査を受けたいと思ったことがありますか?					
ある	9 36.0%	1 20.0%	12 85.7%	22 50.0%	<b>&lt;0.01</b>
ない	16 64.0%	4 80.0%	2 14.3%	22 50.0%	
あなたは、日本では、保健所でHIV検査を無料・匿名で受けられることを知っていますか?					
知っている	7 28.0%	0 0.0%	11 78.6%	18 40.9%	<b>&lt;0.01</b>
知らない	18 72.0%	5 100.0%	3 21.4%	26 59.1%	
あなたはこれまでにHIV検査を受けたことがありますか?					
ある	22 88.0%	3 60.0%	10 71.4%	35 79.5%	0.24
ない	3 12.0%	2 40.0%	4 28.6%	9 20.5%	
あなたは日本でHIV検査を受けたことがありますか?					
ある	5 20.0%	0 0.0%	8 57.1%	13 29.5%	<b>0.02</b>
ない	20 80.0%	5 100.0%	6 42.9%	31 70.5%	

## D. 考察

日本における外国籍MSMにおける新規HIV感染者、新規AIDS患者報告数は近年増加しており、日本を訪問する外国籍MSMの実態把握、予防行動の実態把握と対策の考案は急務である。沖縄県は、MSM向けツーリズムの受け入れ先として人気が高く、多くの日本国籍MSMが沖縄県を訪問している実態をH27、H28年度に実施した研究で示した。

2018年の暦年(1～12月)の入域観光客数が前年比4.7%増(44万6200人増)の984万2400人になったと発表した。台風や麻疹(はしか)の影響で前年割れの月があったものの、6年連続で過去最高を更新した。国籍別にみると、台湾が13.0%増の88万9700人、韓国が6.2%増の55万5500人、中国が25.5%増の63万2400人となっており、近隣アジア国からの観光客が多いことが想定される。初年度に開発、作成したアンケートシステムを活用し、2019年には、日本に滞在する外国籍MSMの実態調査を試行した。

その結果、回答者数が少なく、今後も継続して調査を実施する必要があるが、日本での性行動は日本のMSMと同程度行われている一方で、日本におけるHIV検査の情報が浸透しておらず、検査機会が少ない状況であることが示唆された。

## E. 結論

日本における外国籍MSMにおける新規HIV感染者、新規AIDS患者報告数は近年増加しており、日本を訪問する外国籍MSMの実態把握、予防行動の実態把握と対策の考案は急務である。外国籍MSMが回答可能な多言語アンケートシステムの構築を行い、今年度は調査を試行した。またアジア圏の来日者の急増も鑑み、中国語でも回答可能なアンケートを構築した。次年度も調査を継続し、実態の解明につなげる。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 金子典代, 塩野徳史, 本間隆之, 岩橋恒太, 健山正男, 市川誠一: 地方都市在住の MSM (Men who have sex with men) における調査時点までと過去1年の HIV 検査経験と関連要因. 日本エイズ学会誌, 2019, 21(1)
- 2) Kami-Onaga K, Tateyama M, Kinjo T, Parrott G, Tominaga D, Takahashi-Nakazato A, et al. Comparison of two screening tests for HIV-Associated Neurocognitive Disorder suspected Japanese patients with respect to cART usage. PloS one. 2018;13(6)

### 2. 学会発表

- 1) 和田秀穂, 塩野徳史, 徳永博俊, 竹内麻子, 健山正男, 市川誠一, 金子典代: 中国四国地方におけるより感染リスクの高い MSM 層の実態把握と HIV 抗体検査受検経験に関するコミュニティアンケート調査, 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 2) 岩橋恒太, 金子典代, 高野操, 岡慎一, 本間隆之, 健山正男, 市川誠一, 荒木順子, 木南拓也, 高久道子, 生島嗣, 佐藤郁夫, 福原寿弥, 林田庸総, 中山保世, 小日向弘雄, 今村顕史: MSM を対象とする、郵送検査手法を用いた新たな HIV 検査機会としての「HIVcheck.jp」の取り組み. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 3) 宮城京子, 豊里竹彦, 前田サオリ, 健山正男, 大嶺千代美, 藤田次郎: 沖縄県内訪問看護師の HIV 感染患者の受け入れ意識に関連する要因の検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 4) 上薫, 健山正男, 金城武士, Parrott Gretchen, 富永大介, 高橋愛, 仲村秀太, 宮城京子, 前田サオリ, 藤田次郎: 日本人にお

る、2つの HIV 関連認知機能障害スクリーニング検査の cART 非投与群と投与群の比較. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4

- 5) 岡崎玲子, 蜂谷敦子, 佐藤かおり, 豊嶋崇徳, 佐々木 悟, 伊藤俊広, 林田庸総, 岡 慎一, 湯永博之, 古賀道子, 長島真美, 貞升健志, 近藤真規子, 椎野禎一郎, 須藤弘二, 加藤真吾, 谷口俊文, 猪狩英俊, 寒川 整, 加藤英明, 石ヶ坪良明, 中島秀明, 吉野友祐, 太田康男, 茂呂寛, 渡邊珠代, 松田昌和, 重見 麗, 岩谷靖雅, 横幕能行, 渡邊 大, 小島洋子, 森 治代, 藤井輝久, 高田清式, 南 留美, 山本政弘, 松下修三, 健山正男, 藤田次郎, 杉浦 互, 吉村和久, 菊池 正: 国内新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV-1 の動向. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 6) 笠島志穂, 山城朋子, 健山正男, 仲村秀太, 山入端一貴, 兼久 梢, 新垣若子, 鍋谷大二郎, 藤田次郎: 上気道閉塞のリスクを有するカポジ肉腫の治療経験症例. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 7) 上原 仁, 諸見牧子, 与那覇房子, 外間惟夫, 前田サオリ, 宮城京子, 石郷岡美穂, 大城市子, 辺士名優美子, 上 薫, 仲村秀太, 中村克徳, 健山正男, 藤田次郎: 腸瘻からの cART 投与において血中濃度測定を行い用量調整した一例. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 8) 西原一秀, 平野惣大, 健山正男, 前田サオリ, 宮城京子, 藤田次郎, 新崎 彰: 沖縄県歯科医療従事者の HIV/AIDS 患者歯科診療に対するアンケート調査の検討. 第 32 回日本エイズ学会学術集会・総会, 大阪, H30. 12. 2-4
- 9) 健山正男: 沖縄県における HIV の現況. 九州医師連合会 HIV 医療講演会 2018
- 10) 兼久 梢, 健山正男, 鍋谷大二郎, 喜友名朋, 新里 彰, 新垣若子, 宮城一也, 原永修作, 藤田次郎: 免疫再構築に伴う病変増大が疑われた HIV 関連トキソプラズマ脳

症の一例. 第 92 回日本感染症学会学術集会 2018. 6. 1 感染症学雑誌 92 357 2018

11) 原永修作, 西山直哉, 鍋谷大二郎, 金城武士, 宮城一也, 健山正男, 藤田次郎: 男性同性愛者に発症し化膿性扁桃炎として診断・治療された扁桃梅毒の 1 例と case review. 第 92 回日本感染症学会学術集会 2018. 6. 1 感染症学雑誌 92 284 2018

12) 石原美紀, 健山正男, 渡嘉敷良乃, 鍋谷大二郎, 金城武士, 宮城一也, 藤田次郎: HIV 新規診断症例においてインテグラーゼ領域に P145S を検出した一例. 第 92 回日本感染症学会学術集会 2018. 6. 1 感染症学雑誌 92 375 2018

#### **H. 知的財産権の出願・登録状況**

##### **(予定を含む)**

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし。

3. その他

なし。

